

●特別資料貸出等

郷土・資料調査室が所蔵する貴重な資料は、出版や映像における地域のPR素材として、または学術研究のために、複製物の特別貸出や特別撮影をおこなっています。ご希望の方は、台東区立図書館ホームページで申請の詳細をご確認ください。許可にあたりましては、利用目的や企画内容を総合的に判断させていただきます。

平成26年度の特別取扱件数 (1月31日現在)

- 特別貸出：24件126点(写真素材:101点、刊行物25点)
- 特別撮影：2件5点
- 種別：映像・番組制作12件、教育・学術研究8件、出版2件、その他4件
- 主な資料提供先：みずほ銀行浅草支店、テレビ東京「ソロモン流」、樞出版社「浅草本」、彩流社「東武伊勢崎線・日光線 街と駅の1世紀」ほか
- 主な提供資料：高相嘉男氏写真コレクション、絵はがきなど



▲「浅草本」

▲「東武伊勢崎線・日光線 街と駅の1世紀」

平成26年度の見学・研修

- 8月7日(木) 日本学演習(学習院女子大学大学院生)
内容:専門員がパワーポイントで展示内容、資料整理の実例、また実物資料「吉原細見」を紹介。
- 9月9日(火) 台東区立中央図書館施設見学(東京図書館ユニオン)
内容:開催中の企画展「吉原細見の世界」について展示の見どころを図書館員が紹介。

●平成27年度の企画展

平成27年度の郷土・資料調査室では、下記の企画展を予定しています。詳細は広報たいとう、ホームページ、ポスター、チラシ等でご案内します。

「谷中の自然を見る 本草学者・岩崎灌園の世界」

6月19日(金)～9月16日(水)

講演会
①「すぎ散歩(仮)」7月4日(土)講師:杉崎光明氏(樹木医)
②「岩崎灌園と江戸の自然(仮)」7月11日(土)
講師:平野恵(中央図書館専門員)
いずれも生涯学習センター301研修室
スライド・トーク 7月9日(木)、8月13日(木)9月10日(木)

「のりものいろいろ ～新聞記事から見る台東区～(仮)」

9月18日(金)～12月16日(水)

スライド・トーク 10月8日(木)、11月12日(木)、12月10日(木)

「日記が語る台東区 『宴遊日記』(仮)」

12月18日(金)～平成28年3月16日(水)

スライド・トーク 平成28年1月14日(木)、2月11日(祝)、3月10日(木)
トーク・イベント 2月～3月を予定

「所蔵資料で見る谷中五重塔(仮)」

平成28年3月18日(金)～6月中旬

ただいま準備中

谷中の自然を見る 本草学者・岩崎灌園の世界

6月19日(金)～9月16日(水)

台東区ゆかりの本草学者・岩崎灌園(1786-1842)の業績を紹介します。岩崎灌園は、日本で初めての彩色植物図鑑『本草図譜』を執筆し、図をふんだんに使った園芸書『草木育種』や、江戸の自然環境を記録した『武江産物志』など、数々の著作を世に残しました。

また、平成27年4月の中央図書館谷中分室の開館にあわせて、灌園が住んでいた自然豊かな「谷中」という地域の特徴を、環境というキーワードから明らかにする予定です。

本展覧会を通して、植物と人間のかわりをあらわした、岩崎灌園の偉業を知っていただければ幸いです。



▲「本草図譜」巻47より「薑(きょう。ショウガのこと)」(国立国会図書館蔵)



書庫を繙く

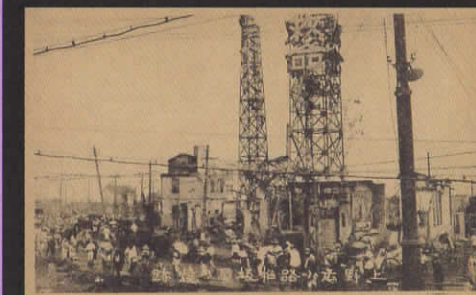
郷土・資料調査室の貴重資料を紹介するコーナー



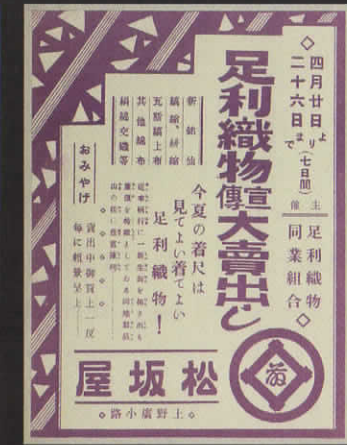
▲図1 絵はがき「上野廣小路」



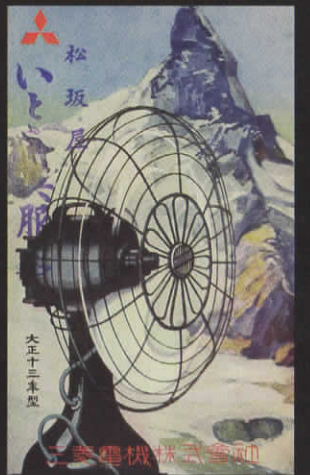
▲図2 石版画「激震ト猛火ニ襲ハレシ上野廣小路松阪屋附近之眞景」部分、大正12年10月発行



▲図3 絵はがき「上野広小路松阪屋の焼跡」大正12年頃



▲図4 チラシ「足利織物宣傳大賣出し」



▲図5 チラシ「三菱十三年型電氣扇」(大正13年製扇風機)



▲図6 絵はがき「上野廣小路松坂屋百貨店の壯観」

今回の「書庫を繙く」は、3月20日から開催する展覧会「百貨店の時代—昭和初期の上野松坂屋」(6月14日まで)から展示資料の一部を紹介します。

上野松坂屋は、大正12年(1923)の関東大震災による類焼のため9月2日に全焼してしまいます。大正6年9月に竣工したばかり(図1)ということもあって、当時の大事件として注目されました。まさに火に包まれたその瞬間を描いた石版画(図2)や、焼け落ちた建物の写真を絵はがきに仕立てたもの(図3)などさまざまな媒体に記録されました。

しかし、震災から約3ヶ月後の12月14日には、上野広小路本

館がバラックながら落成します。当館所蔵のチラシを見ると、震災で失われた生活必需品に力を入れて販売する様子がよくわかります。女性の日常着に使われた「銘仙」(図4)、扇風機(図5)、箆筒をはじめとする家具などさまざまな商品と時代がかかった宣伝文句は、今の私たちが見ると新鮮に映ります。

震災直後から、商品を迅速に供給するこうした姿勢は、昭和4年(1929)の本館竣工(図6)においてピークを迎えます。建物が新しくなることによって、新時代を代表する百貨店としての再スタートとなり、店内には屋上遊園などの新しい娯楽、衣食住の流行の先端が並べられ、よそゆきを着てお出かける、あこがれの場所になっていったのです。

台東区立中央図書館 郷土・資料調査室

〒111-8621
東京都台東区西浅草3-25-16
TEL.03-5246-5911
http://www.taitocity.net/tai-lib
【開館時間】
月～土曜日 午前9時～午後8時
日曜・祝日 午前9時～午後5時

- 【アクセス】
- つくばエクスプレス「浅草」駅 A2出口から徒歩5分
 - 地下鉄日比谷線「入谷」駅 徒歩8分
 - 北めぐりん・南めぐりん 「生涯学習センター北」徒歩2分
 - 都バス「入谷二丁目」停留所 徒歩1分



「昔の新聞記事を見たい!」と思った時、郷土・資料調査室がお役に立ちます。

中央図書館では、新聞縮刷版、データベース、スクラップの3つの媒体(方法)で新聞情報を収集しています。

■新聞縮刷版

中央図書館では現在、朝日新聞と日本経済新聞の縮刷版を継続的に収集しています。郷土・資料調査室の一角に新聞縮刷版のコーナーがあり、朝日新聞は、最新5年分の縮刷版と明治21年以降昭和20年までの復刻版を置いています。日本経済新聞は、最新3年分の縮刷版を置いています。また読売・毎日の一部を含め、室内の棚にないバックナンバーも保管庫にありますので、カウンターの職員にお声掛けください。



▲新聞縮刷版およびパソコン・コーナー

■データベース

縮刷版の所蔵がないものや、その他主要紙の情報を見たい場合は、郷土・資料調査室のパソコン・コーナーで、朝日、読売、毎日、日経、東京新聞のデータベースをご利用いただけます。

利用は、原則一人1日1時間です。有料で紙面を印刷することもできます。枚数等に制限がありますので、詳しくは、カウンターにてお問い合わせください。



■スクラップ

郷土・資料調査室では、朝日、読売、毎日、日経、産経、東京新聞から、台東区に関連する記事を選んでスクラップしています。新聞ごとに一年ずつまとめています。最新の一年分は、郷土・資料調査室の書架にありますので、ご自由にご覧ください。バックナンバーをご覧になりたい時は、カウンターにお声掛けください。



▲新聞スクラップ作業風景

特定の情報を効率的に探したいときや、テーマやキーワードで調べたいときはデータベース検索がおすすめですが、縮刷版を利用すると、目的の情報だけでなく、同じ時期の世相や周辺情報も知ることができます。

台東区で起こったできごとについて網羅的に調べたいときは、新聞スクラップが役に立ちます。

ご利用目的に合わせて、ご活用ください。

なお、平成27年9月18日(金)から12月16日(水)まで、企画展「のりものいろいろ～新聞記事から見る台東区～(仮)」を開催予定です。みなさまおなじみの上野動物園のモノレールやコミュニティー・バスの「めぐりん」をはじめ、日本で最初に導入されたのが台東区内であった地下鉄や乗用エレベーターなど、さまざまな乗り物を新聞記事と写真、絵はがきなどから振り返ります。乗り物という切り口から出てくる台東区の歴史や魅力をご紹介します。

高相嘉男写真展 —浅草を見つめつづけた写真家— ストリート・ストーリー

3月21日(祝)～6月15日(日) 会期中入室者数:13,847名



▲展示風景

『吉原細見』の世界

6月20日(金)～9月17日(水) 会期中入室者数:16,829名

◆トーク・イベント「吉原を細かく見る」

- 日時：7月5日(土)
- 講師：①平野恵(台東区立中央図書館専門員)
②田口文哉(さいたま市大宮盆栽美術館学芸員)
③話し手：三浦宏(檜細工師)
聞き手：本田弘子(下町風俗資料館研究員)
- 参加者数:74名



▲トーク・イベント

◆専門員によるスライド・トーク

- 日時：7月10日(木)、8月14日(木)、9月11日(木)
- 講師：平野恵(台東区立中央図書館専門員)
- 参加者数:77名(3回合計)



日記が語る台東区『浅草寺日記』

9月19日(金)～12月17日(水) 会期中入室者数:14,128名

◆史跡散歩「浅草寺日記の舞台」

- 講師：中村洋子(台東区文化財保護調査員)
- 日時：10月18日(土)
- 参加者数:21名



▲史跡散歩(事前講義)

◆専門員によるスライド・トーク

- 10月9日(木)、11月13日(木)、12月11日(木)
- 講師：平野恵(台東区立中央図書館専門員)
- 参加者数:41名(3回合計)



▲スライド・トーク

『下谷生れ』の世界 ～小島政二郎の見た台東区～

12月19日(金)～平成27年3月18日(水) 会期中入室者数:6,255名(1月31日現在)

◆図書館員によるスライド・トーク

- 日時：1月8日(木)、2月12日(木)、3月12日(木)
- 参加者数:22名(1月8日・2月12日分)



▲展示風景



▲スライド・トーク